

令和4年度

## 第3回 玉城小学校コミュニティ・スクール議事録

- 1、日時：令和5年2月21日（火） 9：30～10：45（授業参観を含む）
- 2、参加者：校長、教頭、知念かねみ、嶺井末子、崎原盛博、丹野清彦、  
金城道年、知念俊也
- 3、内容：提言の取組状況説明、学校評価説明、意見交換、次年度の取り組み確認

### 【1日10回ありがとう運動について】

○委員 ☆学校

☆児童の振り返りからわかるように肯定的な意見が多く楽しんで活動している。3年生まではとても盛り上がっている。来年は4月からすぐにスタートするので児童会とタイアップして長く続けられる活動にしていく。

○ありがとうシールがあるといい。

☆オリジナルではないが金色シールやスタンプで対応している

○ありがとうを言っていることがあったかの回答には子供らしい面白い意見がたくさんある。特に⑳～㉔まではいい。

☆子供の本音が出ていて微笑ましい。

☆アンケートを取ったが児童に返していないので出た意見を掲示して知らせる。

### 【学校評価について】

○委員 ☆学校

☆「保護者評価」「児童評価」「教職員評価」の課題をお知らせした。

○地域連携というのはどういうものなのか？

☆外部の地域人材を活用して2年生なら苗の植え方を習ったり、全体なら平和学習の講師をしてもらったりすること。コロナ禍でできていなかったという思いがある。しかし、来年度はお茶クラブも復活させるし、うちなーぐちにも取り組む予定。

○教職員評価で自分で自分のことをよくできたとは言えないと思うので、5回地域人材を活用したらよくできた（4の評価とする）とか数値化するといいいのではないか。そうすると評価をつけやすいと思う。

☆可視化や数値化できるところはして評価しやすいアンケートを作成・実施する。

○悪いことを減らすというのでもいいが良いところを伸ばすでもいい。教師も子供も大変になる。例えば給食の好き嫌いが課題とあるがやりすぎると不登校にもなるケースもある。ゆるくするところも大切。

☆学校課題から来年度の取り組みを出すやり方を見直します。

## 【授業参観（持久走大会を含む）についてその他】

○委員 ☆学校

- 自主的に5年生が伴走していて感動した。多くの保護者がそう感じていた。心優しい。
- 保護者のマナーもよかった。自分の子供だけでなくみんなを応援していた。

○電子黒板の活用状況はどうか。

☆どの教師もしっかり使いこなしている。次年度は ICT を研究の中心に置き、ますます情報機器活用能力を高めていく。一人一台端末も児童は使いこなしている。調べたり発表したりするツールも玉城中学校と同じものを使用しているので中学校に行っても扱える。

○ミントウンの会をいっぱい活用してほしい。声掛けを待っています。

### ＜令和5年度の取り組みについて＞

- ①ありがとう1日10回運動（児童）
- ②1週間で全員に声かけ運動（教師）
- ③ミントウンの会をいっぱい活用しよう（地域とともにある学校）